



令和6年度 水道事業決算

(1) 収益的収支（維持管理の収支）

- ・収入は、人口減少の影響により、前年度から水道料金が減少したものの、能登半島地震の応援活動費用に係る負担金収入等により、その他収入が増加したため、収入全体では前年度よりも1.5億円程度増加した。
- ・支出は、減価償却費及び固定資産の廃棄に要する費用（資産減耗費）が増加したこと等により、支出全体では前年度よりも2.8億円程度増加した。

●予算執行状況（単位：百万円・税込） ▲はマイナス

項目	予算額 ①	R6決算額 ②	対予算 ②－①
水道料金	10,912	10,831	▲ 81
長期前受金戻入	429	445	16
その他収入	865	875	10
他会計繰入金 （一般会計）	162	117	▲ 45
収入計	12,368	12,268	▲ 100
項目	予算額 ①	R6決算額 ②	対予算 ②－①
人件費	1,159	1,105	▲ 54
物件費※	4,651	4,256	▲ 395
減価償却費等	4,216	4,042	▲ 174
企業債利息等	476	475	▲ 1
その他	317	257	▲ 60
支出計	10,819	10,135	▲ 684

※物件費：動力費、修繕費、委託料等

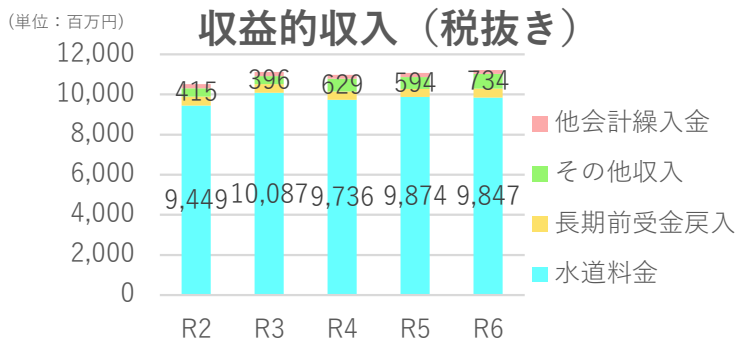
※各金額を百万円未満四捨五入で表記しているため、合計額や差引が一致しない場合があります。

※決算について、R5からR6への繰越額も含みます。

●損益計算書（単位：百万円・税抜） ▲はマイナス

	項目	R6決算額 ①	R5決算額 ②	対前年度 決算額 ①－②
収益的収入	営業収益	10,256	10,277	▲ 21
	(1) 水道料金	9,847	9,874	▲ 27
	(2) その他	409	403	6
	営業外収益	955	741	214
	(1) 長期前受金戻入	445	405	40
	(2) その他	510	336	174
	特別利益	15	56	▲ 41
	収入計	11,226	11,074	152
収益的支出	項目	R6決算額 ①	R5決算額 ②	対前年度 決算額 ①－②
	営業費用	8,930	8,782	148
	(1) 人件費	1,092	1,082	10
	(2) 物件費	3,792	3,890	▲ 98
	(3) その他	4,046	3,810	236
	営業外費用	703	574	129
	(1) 企業債利息等	475	501	▲ 26
	(2) その他	228	73	155
	特別損失	4	0	4
	支出計	9,637	9,356	281
収支	純利益	1,589	1,718	▲ 129

●5年間の決算値推移（単位：百万円・税抜）

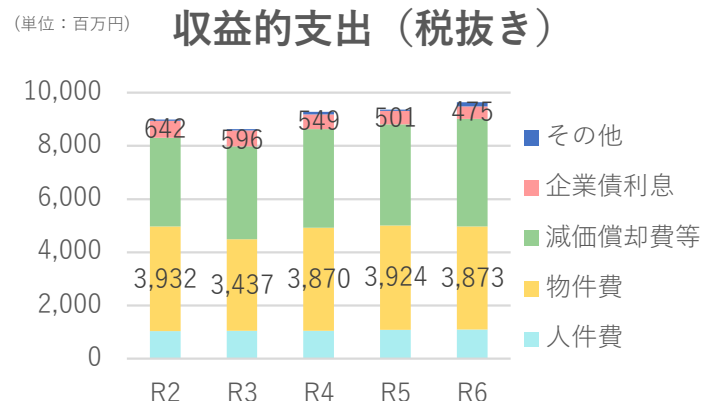


<水道料金>

令和2年10月に実施した料金改定により増加していましたが、令和4年度以降は令和4年台風第15号による水道料金減免の影響を除くと人口減少に伴い減少傾向となっており、今後も減少が見込まれます。

<その他収入>

令和6年度は、能登半島地震の災害支援に要した費用について、被災自治体や一般会計から負担金を収入したこと等により、過去5年間で最も高い値となっています。



<物件費>

令和5年度よりも減少していますが、物価高騰や労務単価上昇により、動力費や委託料は増加傾向にあり、今後も物件費全体の上昇が見込まれます。

<企業債利息>

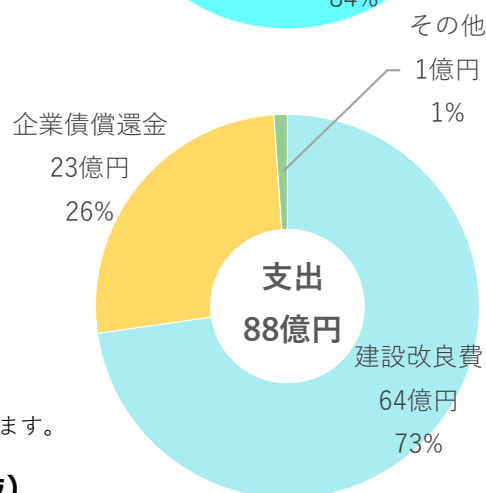
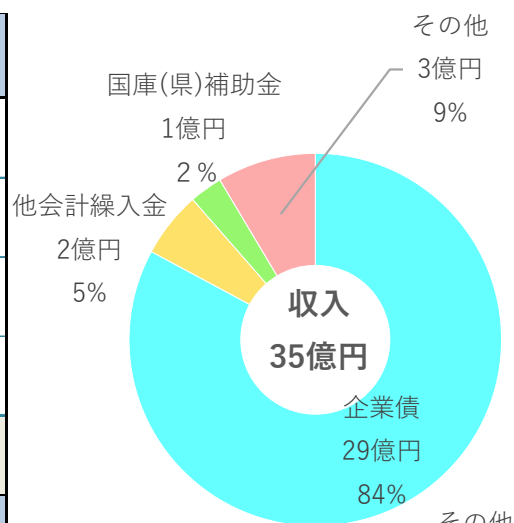
未償還残高の平均利率が低下していることにより、過去5年間減少し続けています。

(2) 資本的収支（建設投資の収支）

- ・収入は、企業債発行額が減少したことにより、4.7億円程度減少した。
- ・支出は、建設改良費が減少したことにより、1.7億円程度減少した。

●予算執行状況及び前年度比較（単位：百万円・税込）▲はマイナス

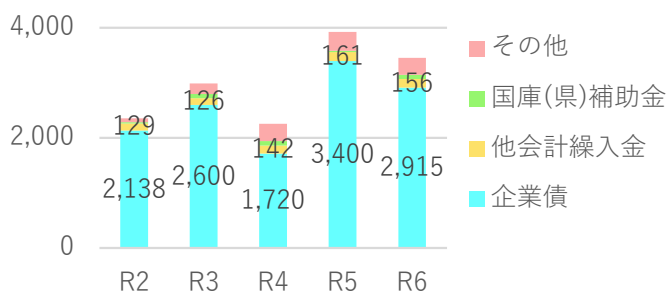
資本的収入	項目	予算額 ①	R6決算額 ②	R5決算額 ③	対予算 ②－①	対前年度 決算額 ②－③
	企業債	5,293	2,915	3,400	▲ 2,378	▲ 485
	他会計繰入金	172	156	161	▲ 16	▲ 5
	国庫(県)補助金	154	79	20	▲ 75	59
	その他	429	305	345	▲ 124	▲ 40
	収入計	6,048	3,455	3,926	▲ 2,593	▲ 471
資本的支出	項目	予算額 ①	R6決算額 ②	R5決算額 ③	対予算 ②－①	対前年度 決算額 ②－③
	建設改良費	10,402	6,370	7,967	▲ 4,032	▲ 1,597
	企業債償還金	2,287	2,287	2,317	0	▲ 30
	その他	100	100	200	0	▲ 100
	支出計	12,789	8,758	10,484	▲ 4,031	▲ 1,726



※各金額を百万円未満四捨五入で表記しているため、合計額や差引が一致しない場合があります。
 ※決算について、R5からR6への繰越額も含まれます。

●5年間の決算値推移（単位：百万円・税抜）

（単位：百万円）資本的収入（税込み）



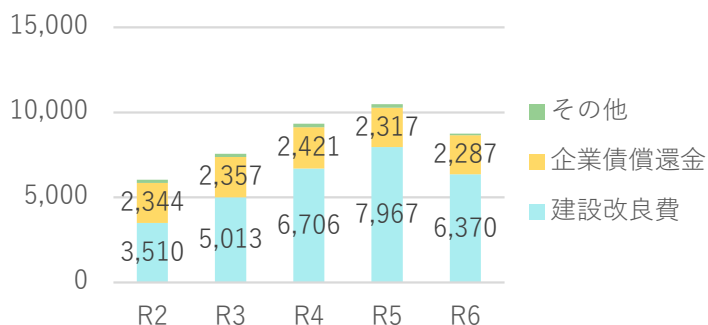
<企業債>

令和5年度と比べ、企業債の借入対象事業が減少したことにより、企業債の借入額は減少しています。建設改良費が変動することで、借入額も変動します。

<他会計繰入金>

令和5年度よりも減少していますが、これは、今年度の緊急地震・津波対策等交付金の対象事業が減少したことによるものです。

（単位：百万円）資本的支出（税込み）



<建設改良費>

事業計画の見直しや前年度からの繰越額が減少したことにより、令和5年度よりも減少していますが、今後、耐震化を進めていくため、建設改良費の増加が見込まれます。

<企業債償還金>

令和6年度は、一部の企業債の償還が終了したため、減少しました。